株式会社ニチレイ
〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号
☎(03)3248-2101（代表）
☎(03)3248-2113（財務グループ　株式担当直通）

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日（そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。）
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
上場証券取引所	東京・大阪
公告掲載新聞	日本経済新聞 ※決算公告は「決算情報」としてホームページに掲載いたします。 http://www.nichirei.co.jp/corpo/koukoku/index.html
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 ☎（03）5213－5213（代表）　0120－288－324
同取次所	みずほ信託銀行株式会社　全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社　本店および全国各支店

ご案内

1．住所、氏名、配当金の振込先等の変更および単元未満株式の買取り、買増しにつきましては、名義書換代理人へお問合せのうえ、お手続きください。
2．配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので、名義書換代理人に指定用紙をご請求ください。

R100
古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK
この報告書は、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷しています。

HOPPE ほっぺ

Vol.15

第88期　中間事業報告書
2005年4月1日～2005年9月30日

株式会社ニチレイ

証券コード：2871

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、
培われた技術、新しいアイデア、
グループトータルのネットワークによって、
新鮮で、健康なおいしさをお届けし、
笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。

Contents

株主の皆様へ 2
中間連結決算ハイライト 3
中間連結決算概要 4
中間単独決算ハイライト 9
中間単独決算概要 10
SPECIAL REPORT 11
FOCUS 13
KEY WORD 15
INTRODUCTION 16
株式の状況 17
会社概要 18

Profile 表紙絵の画家プロフィール

金井英明（かないひであき）氏
1941年北海道生まれ。1963年、北海道学芸大学札幌分校特設美術課程デザイン科卒業。
ミュンヘン大橋の景観デザインとバルコニーレリーフの制作、サッポロホワイトイルミネーションの創案・アートディレクションなどの他、幅広く創作活動を展開する。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。第88期中間事業報告書「HOPPE」をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申しあげます。

ニチレイグループは本年4月から持株会社体制へ移行し、「こだわりの素材をおいしさ・健康・楽しさに変換する技術力とマーケティング力」を始めとするコアコンピタンスに一層磨きをかけ、グループ企業価値の最大化をめざしています。

当中間期の連結業績につきましては、食品関連業界において厳しい事業環境が続くなか、売上高は前年同期を上回り、営業利益はほぼ前年同期並みを計上することができました。なお、当社が保有する固定資産などの減損処理を実施したことから、中間純利益は前年同期比36.1％の減益となりました。

ニチレイグループは、スリムで強靭な企業体質をベースに今後も資本の効率的な使用を意識しつつ、各事業の成長戦略を迅速に進めてまいります。また自然派の食品企業グループとして安全・安心の実現や環境保護にも取り組み、「グループ中期経営計画（2004年度～2006年度）」の最終目標の達成に向けて着実に歩み続けます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申しあげます。

2005年12月

グループミッション・ビジョン

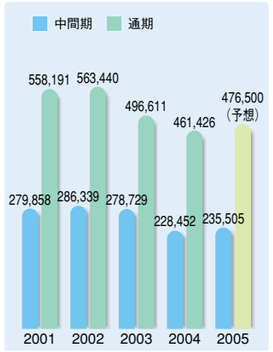
ミッション【使命・存在意義】
くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

ビジョン【めざす姿】
ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。

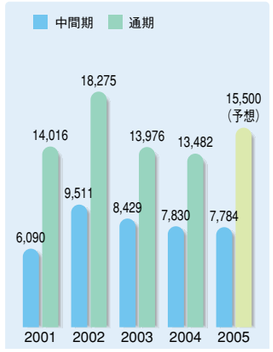
代表取締役会長 大戸武元　代表取締役社長 浦野光人

中間連結決算ハイライト

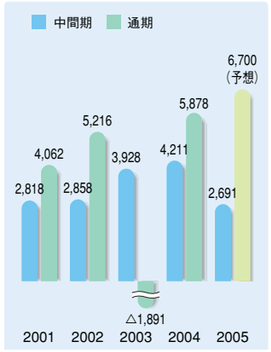
売上高 （年度／単位：百万円）



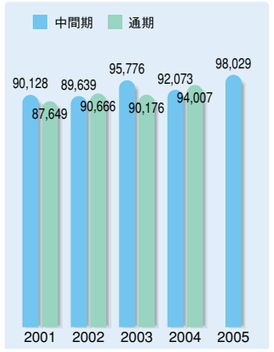
営業利益 （年度／単位：百万円）



当期純利益 （年度／単位：百万円）



株主資本 （年度／単位：百万円）



（注）連結通期予想（2005年11月1日公表）は、公表時点における情報に基づき判断されたものです。実際の業績につきましては、経営環境の変化等により記載した予想とは異なる結果になる可能性があります。

区分	単位	2001年度中間期（第84期）	2002年度中間期（第85期）	2003年度中間期（第86期）	2004年度中間期（第87期）	2005年度中間期（第88期）
売上高	百万円	279,858	286,339	278,729	228,452	235,505
営業利益	百万円	6,090	9,511	8,429	7,830	7,784
経常利益	百万円	4,806	7,906	7,226	7,426	7,661
中間純利益	百万円	2,818	2,858	3,928	4,211	2,691
1株当たり中間純利益	円	9.06	9.20	12.65	13.52	8.63

区分	単位	2001年度（第84期）	2002年度（第85期）	2003年度（第86期）	2004年度（第87期）	2005年度中間期（第88期）
総資産	百万円	353,385	330,703	284,700	276,417	278,404
株主資本	百万円	87,649	90,666	90,176	94,007	98,029
1株当たり株主資本	円	282.00	291.46	290.38	302.50	315.97
設備投資額	百万円	9,020	7,649	5,184	4,968	2,174
有利子負債	百万円	167,439	145,394	124,388	111,984	105,794

（注）2002年度中間期から1株当たりに関する指標は、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号）および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号）を適用して算出しています。

中間連結決算概要

当中間期は、低温物流事業に含まれる物流ネットワーク事業や加工食品事業の売上げが伸びたことにより売上高は2,355億5百万円を計上し、前年同期比3.1%の増収となりました。

利益面では、不動産事業、水産・畜産事業が減益だったものの、主力事業の増収効果などにより営業利益は前年同期並みの77億84百万円を計上しました。有利子負債の削減が計画どおり進み金融収支が改善したことから、営業外損益は1億23百万円のマイナスとなり、経常利益76億61百万円（前年同期比3.2%の増益）を計上することができました。

特別損益につきましては、固定資産売却益11億33百万円などの特別利益を計上する一方、固定資産・リース資産に係る減損損失35億75百万円などを特別損失に計上したことから、差し引きで27億86百万円のマイナスとなりました。

特別利益・損失、税金費用ならびに少数株主利益を加減算した中間純利益は26億91百万円となりました。

● 連結子会社数 65社　● 持分法適用関連会社数 14社

セグメント情報

当中間期 2005年4月1日から2005年9月30日まで （単位：百万円）

	売上高	営業費用	営業利益
加工食品事業	93,313	90,303	3,009
水産事業	42,695	43,430	△ 734
畜産事業	41,754	41,601	152
低温物流事業	63,139	59,953	3,185
不動産事業	3,987	1,678	2,309
その他の事業	4,493	4,452	41
計	249,384	241,420	7,964
消去または全社	（13,879）	（13,699）	（179）
連結	235,505	227,720	7,784

前中間期 2004年4月1日から2004年9月30日まで （単位：百万円）

	売上高	営業費用	営業利益
加工食品事業	88,439	86,236	2,202
水産事業	44,792	45,147	△ 354
畜産事業	41,282	40,969	312
低温物流事業	57,765	55,772	1,992
不動産事業	5,315	1,786	3,529
その他の事業	4,278	4,118	159
計	241,873	234,031	7,841
消去または全社	（13,421）	（13,410）	（11）
連結	228,452	220,621	7,830

（注）持株会社体制への移行に伴い、当中間期との比較のため前中間期データを組み替えて記載しています。

中間連結決算概要

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

区分	当中間期 2005年9月30日現在	前期 2005年3月31日現在
流動資産	**113,136**	**108,835**
現金及び預金	3,100	3,087
受取手形及び売掛金	71,533	64,150
たな卸資産	31,788	33,065
繰延税金資産	3,038	3,460
その他の流動資産	3,994	5,357
貸倒引当金	△ 319	△ 285
固定資産	**165,268**	**167,581**
有形固定資産	111,470	116,963
建物及び構築物	67,920	70,373
機械装置及び運搬具	14,785	15,542
土地	27,018	29,486
建設仮勘定	247	14
その他の有形固定資産	1,497	1,547
無形固定資産	6,688	7,229
連結調整勘定	104	139
その他の無形固定資産	6,583	7,090
投資その他の資産	47,109	43,388
投資有価証券	32,135	27,623
繰延税金資産	3,002	3,219
その他の投資その他の資産	13,271	13,803
貸倒引当金	△ 1,299	△ 1,257
資産合計	**278,404**	**276,417**

区分	当中間期 2005年9月30日現在	前期 2005年3月31日現在
流動負債	**100,520**	**93,380**
支払手形及び買掛金	26,690	24,563
短期借入金	14,441	16,289
コマーシャルペーパー	14,000	15,000
長期借入金（1年以内返済）	6,063	8,187
社債（1年以内償還）	10,000	—
未払費用	18,695	18,615
未払法人税等	2,592	1,648
その他の流動負債	8,037	9,075
固定負債	**79,080**	**88,399**
社債	25,000	35,000
長期借入金	36,289	37,506
繰延税金負債	998	391
退職給付引当金	2,935	3,387
役員退職慰労引当金	445	596
預り保証金	11,492	11,421
連結調整勘定	17	21
リース資産減損勘定	1,839	—
その他の固定負債	62	73
負債合計	**179,601**	**181,779**
少数株主持分	**773**	**630**
資本金	**30,307**	**30,307**
資本剰余金	**23,705**	**23,705**
利益剰余金	**37,119**	**35,495**
その他有価証券評価差額金	**6,896**	**4,533**
為替換算調整勘定	**245**	**189**
自己株式	**△ 244**	**△ 224**
資本合計	**98,029**	**94,007**
負債、少数株主持分及び資本合計	**278,404**	**276,417**

（注）1. 有形固定資産の減価償却累計額　170,986百万円
2. 保証債務　3,328百万円

※ポイントは億円単位で、単位未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表 のポイント

（括弧内は前期末比の増減）

流動資産　1,131億円（43億円の増加）

○受取手形及び売掛金：715億円（73億円の増加）
- 期間売上高の増加など季節的な要因により増加

○たな卸資産：317億円（12億円の減少）
- 在庫水準の適正化を進めたことなどによる

○その他の流動資産：39億円（13億円の減少）
- 前期末に比べ円安になったことから、クーポンスワップなどデリバティブ取引の時価評価差額が15億円減少

固定資産　1,652億円（23億円の減少）

○有形固定資産：1,114億円（54億円の減少）
- 設備投資により21億円増加
- 土地の減損処理に伴い16億円減少
- 減価償却44億円、売却・除却11億円などにより60億円減少

○投資その他の資産：471億円（37億円の増加）
- 投資有価証券：321億円（45億円の増加）
株価上昇に伴い時価評価額が39億円増加
- 繰延税金資産：30億円（2億円の減少）
その他有価証券評価差額金に係る繰延税金負債が増加したことから相殺額が増加し16億円減少
減損損失の計上に伴い将来減算一時差異に係る繰延税金資産が13億円増加

流動負債　1,005億円（71億円の増加）

○支払手形及び買掛金：266億円（21億円の増加）
- 期間売上高の増加など季節的な要因から仕入高が増加

○短期借入金：144億円（18億円の減少）

○長期借入金（1年以内返済）：60億円（21億円の減少）
- 返済32億円、長期借入金から11億円振替

○社債（1年以内償還）：100億円（100億円の増加）
- 第15回無担保社債（償還期限2006年5月2日）

○その他の流動負債：80億円（10億円の減少）
- 前期末に比べ円安になったことからクーポンスワップなどデリバティブ取引の時価評価差額が15億円減少

固定負債　790億円（93億円の減少）

○社債：250億円（100億円の減少）
- 社債（1年以内償還）へ100億円振替

○長期借入金：362億円（12億円の減少）
- 長期借入金（1年以内返済）へ11億円振替

○リース資産減損勘定：18億円（18億円の増加）
- リース資産の減損処理による計上

利益剰余金　371億円（16億円の増加）

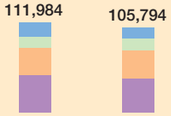
○中間純利益26億円の増加
○前期利益処分による配当金9億円の支払い

その他有価証券評価差額金　68億円（23億円の増加）

○株価の上昇などにより増加

有利子負債の状況

（単位：百万円）



	2004年度	2005年度中間期
短期借入金	16,289	14,441
コマーシャルペーパー	15,000	14,000
社債	35,000	35,000
長期借入金	45,694	42,353

有利子負債のポイント

たな卸資産の圧縮や設備投資の抑制など使用資本の効率化を図り、フリーキャッシュ・フローから長期借入金などを返済したことから有利子負債は61億円減少しました。

なお、前期に社債を償還し、引き続き有利子負債を削減した結果、当中間期の金融収支はマイナス4億円となり、前年同期に比べ1億円改善しました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

区分	当中間期 2005年4月1日から 2005年9月30日まで
●営業活動によるキャッシュ・フロー	6,937
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 208
●財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	75
現金及び現金同等物の増加額	13
現金及び現金同等物の期首残高	3,087
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,100

キャッシュ・フロー計算書 のポイント

（括弧内は前年同期比の増減）

営業活動によるキャッシュ・フロー
69億円の収入　（102億円の増加）

○経常利益は76億円となり2億円の増加
○加工食品事業や水産事業において在庫水準の適正化を進めたことなどから営業資金に係る収支が大幅に改善し、前中間期に比べ98億円の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー
2億円のマイナス　（3億円の増加）

○投資有価証券の売却による収入が前中間期に比べ38億円減少
○有形固定資産関連収支は、設備投資の抑制や土地の売却に加え、前中間期に物流センター新設に係る設備投資があったことなどから前中間期に比べ31億円の増加

財務活動によるキャッシュ・フロー
67億円のマイナス　（106億円の減少）

○長期借入金などの返済により59億円を支出

以上により、当中間期末の現金及び現金同等物は31億円となりました。

中間連結決算概要

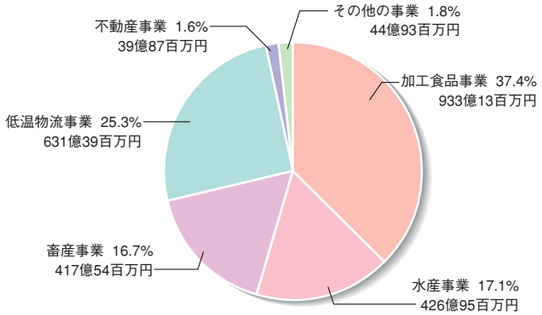
（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

区　分	当中間期 2005年4月 1日から 2005年9月30日まで	前中間期 2004年4月 1日から 2004年9月30日まで
売上高	235,505	228,452
売上原価	189,225	182,848
売上総利益	46,279	45,603
販売費及び一般管理費	38,494	37,773
販売費	23,133	22,142
一般管理費	15,361	15,630
営業利益	7,784	7,830
営業外収益	1,267	1,299
受取利息	37	29
受取配当金	201	186
持分法による投資利益	549	638
その他の営業外収益	478	445
営業外費用	1,390	1,703
支払利息	718	873
たな卸資産廃棄損	152	—
その他の営業外費用	519	830
経常利益	7,661	7,426
特別利益	1,199	1,461
固定資産売却益	1,133	102
関係会社増資によるみなし売却益	58	—
貸倒引当金戻入益	5	17
関係会社株式売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	1,192
事業所閉鎖損失戻入益	—	148
特別損失	3,986	1,064
固定資産売却損	231	3
固定資産除却損	114	152
減損損失	3,575	—
事業所閉鎖損失	64	90
営業権評価損	—	515
先渡契約損失	—	122
厚生年金基金脱退に伴う拠出金	—	119
投資有価証券評価損	—	62
税金等調整前中間純利益	4,874	7,823
法人税、住民税及び事業税	2,469	1,502
過年度法人税等戻入額	—	298
法人税等調整額	△ 326	2,425
少数株主利益	40	△ 17
中間純利益	2,691	4,211

セグメント別売上高構成比



※消去△138億79百万円

中間連結剰余金計算書

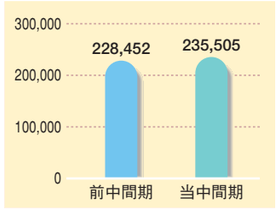
（単位：百万円）

区　分	当中間期 2005年4月 1日から 2005年9月30日まで
（資本剰余金の部）	
資本剰余金期首残高	23,705
資本剰余金増加高	0
自己株式処分差益	0
資本剰余金中間期末残高	23,705
（利益剰余金の部）	
利益剰余金期首残高	35,495
利益剰余金増加高	2,691
中間純利益	2,691
利益剰余金減少高	1,067
配当金	931
役員賞与	135
利益剰余金中間期末残高	37,119

※ポイントは億円単位で、単位未満を切り捨てて表示しています。

売上高

（単位：百万円）



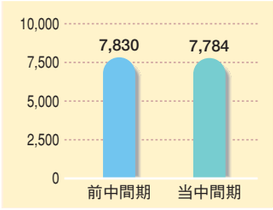
当中間期	235,505
前中間期	228,452
前年同期比	7,053
増減率	3.1%

ポイント　**2,355億円**（前年同期比70億円の増収）

○低温物流事業は前年度新設した物流センターが大きく貢献し物流ネットワーク事業が大幅な増収
○加工食品事業はチキン加工品、農産加工品、常温食品などのカテゴリーが好調に推移し増収
○水産事業は調達価格の高騰から主力商品の取扱いを絞り込んだことなどにより減収

営業利益

（単位：百万円）



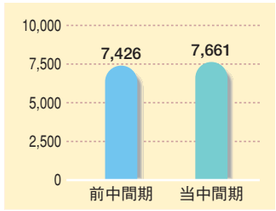
当中間期	7,784
前中間期	7,830
前年同期比	△ 45
増減率	△ 0.6%

ポイント　**77億円**（前年同期比0.4億円の減益）

○低温物流事業は物流ネットワーク事業、地域保管事業が好調に推移し増益
○加工食品事業は売上げの増加やグループ内生産工場の操業率改善などにより増益
○不動産事業、水産事業、畜産事業は減益
○販売費：231億円（前年同期比9億円増加）
・家庭用調理冷凍食品の販売拡大とブランド戦略の相乗効果を狙いとした販売促進費を積極的に投入

経常利益

（単位：百万円）



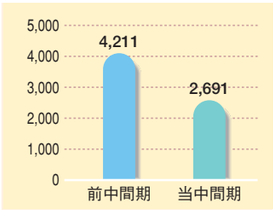
当中間期	7,661
前中間期	7,426
前年同期比	235
増減率	3.2%

ポイント　**76億円**（前年同期比2億円の増益）

○営業外損益　△1億円
・金融収支　△4億円
有利子負債の削減が計画通り進んだことから1億円改善
・持分法投資利益　5億円
㈱アールワイフードサービスの持分が減少したことなどによる

中間純利益

（単位：百万円）



当中間期	2,691
前中間期	4,211
前年同期比	△ 1,519
増減率	△36.1%

ポイント　**26億円**（前年同期比15億円の減益）

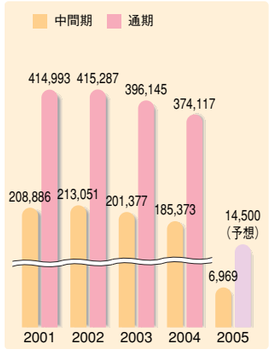
○特別利益　11億円
・神奈川県茅ヶ崎市所在の土地・建物等の売却などにより固定資産売却益11億円を計上
○特別損失　39億円
・固定資産・リース資産の減損損失を35億円計上
○法人税等の税金費用　21億円

中間単独決算ハイライト

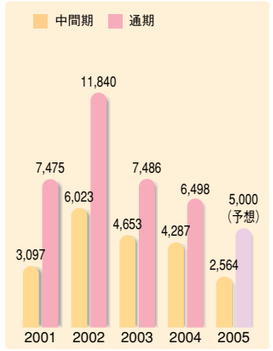
（注）2005年4月1日付で持株会社体制へ移行したことにより、当中間期から当社の単独決算数値は持株会社としての実績値となっております。

中間配当金は1株につき3円とし、2005年12月6日を支払開始日とさせていただきました。

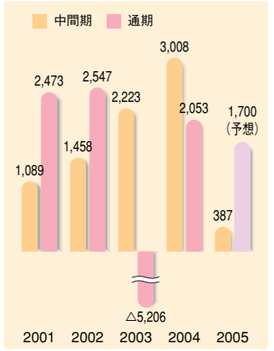
売上高または営業収益（年度／単位：百万円）



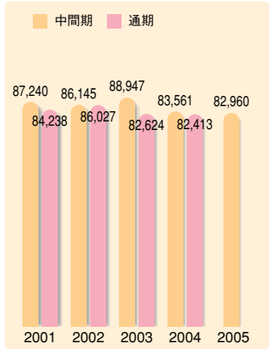
営業利益（年度／単位：百万円）



当期純利益（年度／単位：百万円）



株主資本（年度／単位：百万円）



（注）単独通期予想（2005年11月1日）は、公表時点における情報に基づき判断されたものです。実際の業績につきましては、経営環境の変化等により記載した予想とは異なる結果になる可能性があります。

区分	単位	2001年度中間期（第84期）	2002年度中間期（第85期）	2003年度中間期（第86期）	2004年度中間期（第87期）	2005年度中間期（第88期）
売上高または営業収益	百万円	208,886	213,051	201,377	185,373	6,969
営業利益	百万円	3,097	6,023	4,653	4,287	2,564
経常利益	百万円	3,130	5,385	4,760	4,467	2,911
中間純利益	百万円	1,089	1,458	2,223	3,008	387
1株当たり中間純利益	円	3.50	4.69	7.16	9.69	1.24

区分	単位	2001年度（第84期）	2002年度（第85期）	2003年度（第86期）	2004年度（第87期）	2005年度中間期（第88期）
総資産	百万円	273,597	261,784	256,982	301,285	196,422
株主資本	百万円	84,238	86,027	82,624	82,413	82,960
1株当たり株主資本	円	271.02	276.77	266.13	265.24	267.33
設備投資額	百万円	5,936	5,202	3,246	2,556	118
有利子負債	百万円	116,203	104,593	110,238	100,718	92,027

（注）1. 2001年度中間期から1株当たり当期純利益および1株当たり株主資本は、自己株式を控除して算出しています。
2. 2002年度中間期から1株当たりに関する指標は、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号）および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号）を適用して算出しています。
3. 2004年度の有利子負債は「会社分割」に伴い各事業会社に承継させるため実施した、株式会社ニチレイ・アプリ（現：株式会社ニチレイプロサーヴ）からの借入金（関係会社短期借入金）50,300百万円を除いています。

＊第87期事業報告書（Vol. 14）の18ページにおいて、一部データの訂正がありましたのでお知らせいたします。
利益処分の任意積立金　（誤）1,921,101,228円　（正）900,000,000円

中間単独決算概要

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間単独貸借対照表

（単位：百万円）

区分	当中間期 2005年9月30日現在	前期 2005年3月31日現在
流動資産	39,934	148,611
現金及び預金	1,217	1,166
受取手形	—	892
売掛金	42	51,369
たな卸資産	3,334	29,622
繰延税金資産	1,987	2,662
関係会社短期貸付金	32,898	58,998
その他の流動資産	519	4,249
貸倒引当金	△ 65	△ 348
固定資産	156,487	152,673
有形固定資産	20,801	82,768
無形固定資産	761	4,504
投資その他の資産	134,925	65,400
資産合計	196,422	301,285
流動負債	42,941	133,463
支払手形	—	21
買掛金	5	29,038
短期借入金	10,767	11,755
関係会社短期借入金	—	50,300
社債（1年以内償還）	10,000	—
コマーシャルペーパー	14,000	15,000
その他の流動負債	8,168	27,347
固定負債	70,520	85,408
社債	25,000	35,000
長期借入金	32,259	32,475
退職給付引当金	254	972
役員退職慰労引当金	270	430
預り保証金	10,895	16,530
リース資産減損勘定	1,839	—
負債合計	113,461	218,871
資本金	30,307	30,307
資本剰余金	23,705	23,705
資本準備金	7,604	7,604
その他資本剰余金	16,100	16,100
利益剰余金	24,008	24,641
利益準備金	39	39
任意積立金	21,497	21,491
中間（当期）未処分利益	2,471	3,111
その他有価証券評価差額金	5,135	3,936
自己株式	△ 197	△ 177
資本合計	82,960	82,413
負債・資本合計	196,422	301,285

（注）1. 有形固定資産の減価償却累計額　18,165百万円
2. 保証債務　14,865百万円

中間単独損益計算書

（単位：百万円）

区分	当中間期 2005年4月1日から2005年9月30日まで	前中間期 2004年4月1日から2004年9月30日まで
売上高	—	185,373
売上原価	—	148,034
売上総利益	—	37,339
販売費及び一般管理費	—	33,051
販売費	—	20,957
一般管理費	—	12,093
営業収益	6,969	—
営業費用	4,404	—
営業利益	2,564	4,287
営業外収益	894	1,162
受取利息	519	171
受取配当金	320	771
その他の営業外収益	53	219
営業外費用	547	981
支払利息	294	360
社債利息	205	280
コマーシャルペーパー利息	0	0
貸倒引当金繰入額	2	9
その他の営業外費用	43	330
経常利益	2,911	4,467
特別利益	1,145	1,348
固定資産売却益	1,105	0
関係会社株式売却益	39	—
投資有価証券売却益	—	1,192
貸倒引当金戻入益	—	155
特別損失	3,816	252
固定資産売却損	231	0
固定資産除却損	9	67
減損損失	3,575	—
先渡契約損失	—	122
投資有価証券評価損	—	62
税引前中間純利益	240	5,564
法人税、住民税及び事業税	187	22
過年度法人税等戻入額	—	298
法人税等調整額	△ 335	2,831
中間純利益	387	3,008
前期繰越利益	2,083	2,038
中間未処分利益	2,471	5,047

Special Report

食べることが、実は、いちばんのつながりです。

食で育む
はぐねっと
http://www.hugnet.jp

食に取り組む様々な立場の人から発信される、お母さんや子どもたちに「楽しく役立つ」情報満載のWebサイト、それが「はぐねっと」です。

このサイトのコンテンツはどれも社員の日々の活動から生まれたものばかり。普段の仕事を通して培ってきた強い信頼関係をもとに、農作物の生産者やプロの料理人の方々、栄養士の方々、お母さん方など多数の皆様にご協力いただいています。

この活動を通して、ニチレイフーズから広がる「食」の楽しさ、「食」のすばらしさを生活者の皆様にお伝えしながら、コミュニケーションの輪を広げてまいります。

コンテンツのご紹介

みんなで解決！
ママのお悩み相談室
お母さん方が悩み、気になっている「食」や子育てなどに関する様々な問題について、お母さん同士で知恵を出し合い解決への道を手助けしていく場です。

栄養士リレーエッセイ
はぐくみ最前線
学校給食の第一線で活躍されている全国の栄養士によるリレーエッセイ。給食を通して見えてくる「子どもたちの食の今」や、食育への取組みなどを楽しくお伝えしていきます。

体験！キッズツアー
冷凍食品工場や農作物の収穫体験など、様々な「食」の現場を訪問し、楽しく学べる体験ツアーです。

7月は船橋工場で焼おにぎりラインの見学とパイ作り、8月は北海道でコロッケ工場の訪問とじゃがいも掘りを体験しました。

お弁当をもっと楽しく！
お弁当ピカ！研究室
ピカピカ空っぽになったお弁当箱は何より嬉しいもの。幼稚園児編、スポーツ編など新たなテーマを発掘し、調査や実験、試作など研究チームとともにアプローチしていきます。

その他にも、農作物の生産現場にいる生産者や商品開発担当者が生の声を伝えるブログ※「はぐろぐ」や、調理と素材のプロがコラボレーションする「築地発！とれとれ旬情報」「今月の旬菜レシピ」など盛りだくさんです。

※ブログ：Weblog（造語）の略。日記形式で自分の意見を書き込むインターネットサイト

皆様のアクセスを
お待ちしております！

FOCUS

国際物流―ポーランドでの事業展開―

ニチレイロジグループ（低温物流事業）では、国内のみならず、海外においても低温物流事業を展開しています。主な拠点は、ヨーロッパの海の玄関口であるオランダ・ロッテルダムですが、昨年から東欧のポーランドにおいても物流サービスの提供を始めました。

フリゴ・ロジスティクス社は2002年に創立し、2004年12月買収によりニチレイグループの一員となった若い会社です。ポーランド中西部のズニンに26,000トンあまりの保管能力を有する冷蔵倉庫を所有し、同国産の農産品やアイスクリーム・冷凍食品の保管、大手小売業への配送などを主要なサービスとして提供しています。

ポーランドは2004年にEUに加盟し、年率5%内外の高い経済成長を続けており、今後もさらに発展が見込まれます。人口は4,000万人弱で同時にEUに加盟した中東欧諸国の中では最も多く、イギリス・フランス・イタリアといった有力西欧諸国の人口がいずれも約6,000万人であるのと比べれば、国内市場の大きさがうかがい知れます。経済成長とともに個人消費も伸びていることから、低温度帯食品への需要は増加の一途をたどっています。大都市の郊外には大きなショッピングセンターが立ち並び、流通業は外資を含む大手チェーンが規模を著しく拡大させています。

一方で、こうした経済の発展を支える物流インフラは国全体で見るとまだ充分に整っておらず、フリゴ・ロジスティクス社にとっては大きなビジネスチャンスがあります。高品質の物流サービスを提供することにより、今後も一層業容を拡大させるとともに、将来的には、ポーランド国内のみならず近隣諸国やロシアを含めた国々の物流拠点とすることも視野に入れています。

保管・配送サービスで、お客様のご要望にトータルに対応

少量・多品種の組合せで安価な共同配送を実現

ポーランドで有数の規模を誇る低温物流倉庫

Frigo Logistics

フリゴ・ロジスティクス社概要

●**英語社名**：Frigo Logistics Sp. z o.o.
●**所 在 地**：ul. Fabryczna 4, 88-400 Znin, POLAND
【ズニン（Znin）の位置】
・ポズナン（Poznan）より90km
・ワルシャワ（Warsaw）より300km
・クラコフ（Krakow）より460km
●**設備能力**：26,300トン（13,500パレットスペース）
（移動ラックシステム導入）
●**機　　能**：保管、オーダーピッキング、クロスドッキング、ポーランド国内外へのトラック輸送

その他の海外グループ会社

●ニチレイ・ホールディング・オランダ　B.V.
●ユーロフリゴ　B.V.
●ユーロフリゴ・フェンロ　B.V.
●ヒワ・ロッテルダム・ポート・コールド・ストアーズ　B.V.
●テルモトラフィック・オランダ　B.V.
●テルモトラフィック・ドイツ　GmbH
●ニチレイ・ファイナンス・オランダ　B.V.
●上海鮮冷儲運有限公司

Key Word

ニチレイならではの企業活動やトピックスなどを
キーワードによりご紹介します。

電子レンジでカンタン調理 気くばり御膳

おいしく食べて〈健康キープ〉

スープ餃子セット

デミグラス
ハンバーグセット

オムレツセット

カロリーを1食あたり320kcal以下に、食塩相当量を2.8g以下に調整し、たんぱく質・脂質・炭水化物の3大栄養素のバランスにも気をくばった冷凍タイプのカロリー調整惣菜セットです。

主菜と副菜をセットしていますので、あとは主食の増減でカロリー調整ができます。焼き物や点心など、冷凍だからこそできた新しいメニューが電子レンジ調理で簡単にお楽しみいただけます。現在、和洋中の全14種類のメニューがそろいました。

1989年に日本で初めてレトルトタイプの糖尿病食を発売し、そこで培った成分保証技術を生かし、2004年12月に冷凍食品でのカロリー調整惣菜セット「気くばり御膳」を発売しました。カロリー、塩分はもとより、たんぱく質・脂質・炭水化物の3大栄養素をバランス良く調整してありますので、食事が偏りがちな方々からもご好評をいただいています。

また急速凍結した冷凍食品のため、食材の味・色等の再現性が高く、栄養素を保持したまま調理されていますので、電子レンジで温めるだけで食材が持つ彩り、食感をお楽しみいただけます。

お客様の様々なご意見をもとに、今後も商品改良・アイテム拡大を進めてまいります。

ご案内

百貨店通販カタログや航空会社機内誌、量販店店頭サービスカウンター、一部生協カタログからご注文いただけます。

ホームページ　**http://wellness.nichirei.co.jp**

商品の購入お問合せ先は16ページをご覧ください。

Introduction

ご好評の商品をご紹介します。

クイックベジ　家庭用

下ごしらえ済みなので野菜のゴミが出ず、必要な分だけササッと調理できる新しい冷凍野菜※。ニチレイフーズ契約農場で育てた野菜を急速凍結しているので、おいしさや栄養成分が損なわれません。チャック付袋で保存にも便利です。

※にんじんの千切り、スライスマッシュルーム、玉ねぎのみじん切り、ささがきごぼう、にんにくスライス、三色ピーマンの千切りの6品を発売

お弁当にGood！ えびフライ　家庭用

プリッとした食感が味わえるえびをサクッとした衣で包み、丸ごと食べられるように尾も取り除いています。お弁当に使いやすい、手作り感のある“ころんとまあるい”形が特徴です。着色料・保存料・化学調味料を使用しておりません。

上等洋食【神戸・新開地 グリル一平】神戸の昔ながらのハイシライス　家庭用

創業以来50年を超え、守り継がれてきたドビソース※に、肉と玉ねぎの旨みがとけあった、マイルドで深みのあるコクが特徴のハヤシライスです。特製コンソメライスとともにお召し上がりください。

※ドビソース＝デミグラスソース

とんかつ屋のロースカツ　業務用

フレッシュな豚肉を使用し、1枚1枚丁寧に手切りし、パン粉を手付けしたロースカツです。厚めにカットしたロース肉は繊維感があり、柔らかくジューシーなおいしさ。4つの規格をそろえ、メニューや業態ごとに使い勝手よく仕上げました。

グリルドハンバーグ　業務用

植物性たんぱくを使用せず、牛肉と豚肉で作ったハンバーグです。高温で焼き上げ、肉汁を閉じ込めているので、冷めても柔らかくジューシーさを保ちます。肉の旨みや自然な肉のほぐれ感を追求しました。

12品目具材の豆腐ハンバーグ　業務用

彩りと食感を考え、健康感のある12種類の具材（玉ねぎ、枝豆、くわい、キャベツ、ひじきなど）を加えた豆腐ハンバーグです。揚げ調理でも焦げにくく、こんがりと焼き上げたような色目が魅力です。かつおと昆布風味の和風タレがよく合います。

家庭用 商品のお問合せ先：お客様相談センター　フリーダイヤル **0120-69-2101**【受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)】

株式の状況 （2005年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数 …… 720,000,000株
発行済株式の総数 …… 310,851,065株
１単元の株式数 …… 1,000株
株主数 …… 30,201名

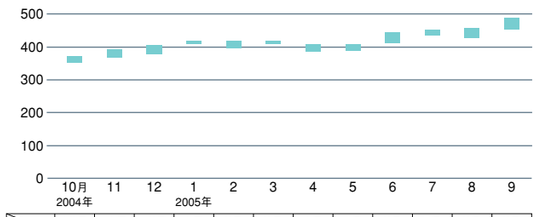
大株主

株　主　名	持株数（千株）	議決権比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	30,854	10.0
日本生命保険相互会社	16,785	5.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	16,065	5.2
株式会社ＵＦＪ銀行	12,446	4.0
株式会社損害保険ジャパン	12,059	3.9
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託	8,056	2.6
株式会社みずほコーポレート銀行	7,314	2.4
第一生命保険相互会社	5,716	1.9
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託	5,598	1.8
農林中央金庫	5,350	1.7

（注）持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

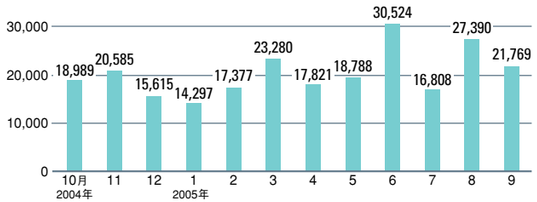
株価チャート

株 価（円）

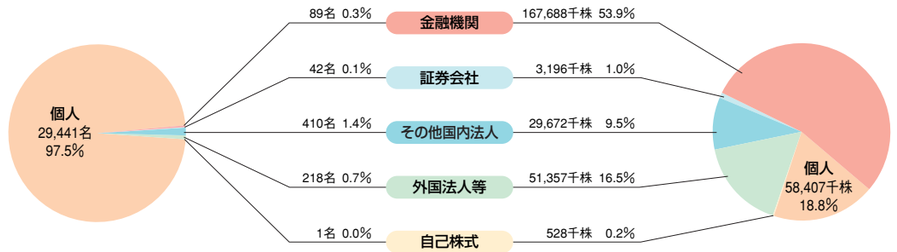


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
高値	374	392	408	420	420	419	408	410	447	452	455	489
安値	347	360	370	403	392	403	380	382	406	431	422	449

出来高（千株・月間合計）



所有者別株主数分布状況



所有者別株式数分布状況

会社概要 （2005年9月30日現在）

社　名	株式会社ニチレイ	
所在地	〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル	
設　立	1942年12月	
従業員数	77名	（参考）ニチレイグループ　5,851名
役　員	代表取締役	会長　大戸武元
	代表取締役	社長　浦野光人
	取締役	常務執行役員　遠山昌利
	取締役	常務執行役員　荒　昌裕
	取締役	常務執行役員　相馬義比古
	取締役	執行役員　長谷川　寿
	取締役	執行役員　村井利彰
	社外取締役	廣瀬光雄
	社外取締役	炭谷俊樹
	社外取締役	川俣美由里
	常任監査役	（常勤）　後藤一彦
	監査役	（非常勤）　井上康之
	社外監査役	（非常勤）　河上和雄
	社外監査役	（非常勤）　佐藤正昭
		執行役員　山本宏樹
		執行役員　永塚一昭
		執行役員　三田勇太郎
会計監査人	新日本監査法人 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル	

本　社

http://www.nichirei.co.jp

情報満載のホームページ

事業紹介や投資家向け情報など、皆様のお役に立つ商品・サービス情報を掲載しています。
なお、トップページの画像は季節ごとに切り替わります。